



JAROS 2019 研究発表大会セミナー

「不透明な未来へ向けての価値創造戦略」ご案内

主催：日本リアルオプション学会

協賛：早稲田大学ファイナンス稲門会

参加費：
無料

神奈川大学（横浜キャンパス 7号館）横浜市神奈川区六角橋3-27-1

<https://www.kanagawa-u.ac.jp/access/yokohama/>2019年**11月30日**（土）・**12月1日**（日）

※ 駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

※ 学内の生協食堂は、昼営業していません。昼食は各自で用意くださいますよう、ご注意ください。

参加申込先：学会ホームページ <http://realopn.jp/>からお申込み（無料）をお願いします。
懇親会のご参加（有料）も歓迎します。

11月30日（土）セミナー 懇親会 18:00 - 20:00

講演1

司会：高嶋 隆太 東京理科大学 准教授

13:00 - 14:00

『これからの都市防災』

廣井 悠 東京大学大学院 工学系研究科 准教授

想定外の災害といわれた東日本大震災以降、わが国の自然災害リスクを取り巻く議論は大きく変わった。ここでは都市計画・都市防災分野を対象とし、少子高齢・低成長時代においてどのように災害リスクを解決すればよいかについて話題提供を行う。

講演2

司会：高嶋 隆太 東京理科大学 准教授

14:10 - 15:10

『エネルギー・リスクマネジメントと海上輸送』

烏海 重喜 中央大学理工学部 情報工学科 准教授

エネルギー資源の多くを海外からの輸入に頼る日本では、中長期にわたり、燃料の調達価格に不確実性が存在する。また、輸出側の地政学的な要因により、資源の産出量と輸出量が大きく変動するおそれもある。さらに、海上輸送では航路上の沿岸国での緊張の高まりや海賊の出没など、輸送自体にも不確実性が存在している。

本講演では、不確実性下の国際的なエネルギーサプライチェーンを考え、VaRを用いて資源の輸入量を決定する問題や、その輸送手段を決定する問題を紹介する。さらに、海上輸送における不確実性の例として、航海距離や航海時間を船舶AISデータを用いて評価した結果も紹介する。

講演3

司会：長谷川 専 株式会社三菱総合研究所 副本部長

15:20 - 16:20

『人口減少時代のビジネスモデルと事業ポートフォリオ戦略』

長谷川 直和 ダイダグループホールディングス株式会社 執行役員

人口が減少し、高齢長寿化がさらに進展するわが国において、産業界では国内市場の縮小を前提とした新たなビジネスモデルの模索がすすめられている。当社グループは、このような中長期的な事業環境の変化をチャンスと捉え、リスクを事業機会に変えることによって、不確実性の時代における競争優位性の高いビジネスモデルへと変貌すべく、2030年のありたい姿を示す「グループミッション2030」を策定した。人口減少時代における持続可能なビジネスモデルの構築に向けた当社グループの取り組みと事業ポートフォリオ戦略について紹介する。

講演4

司会：宮口 直也 アジュアスカイコンサルティング株式会社 代表取締役

16:30 - 17:30

『AI vs. 人間という二項対立への疑問 - 翻訳会社の立場から』

二宮 俊一郎 株式会社翻訳センター 代表取締役社長

2016年、Googleが新しい機械翻訳（GNMT）を発表した。その性能は人間翻訳に迫る可能性を見せ、「翻訳者は不要になる」との予感をもたらした。AIへの期待が盛況を呈するのに比例して、AI vs. 人間という二項対立に則り「AIで無くなる仕事」がリストアップされた。一方、「人間が機械に負けるわけがない」という意見も依然として多い。GNMT発表から3年、当社は代表的AIのひとつであるMT活用に取り組んできた。その取組を報告する。それはAI vs. 人間という単純な二項対立ではなく、「人間の道具としてのAI」という考えに基づくものである。

12月1日（日）チュートリアルセッション 10:00 - 11:50

『Pythonパッケージを用いた数理最適化の実践』

小林 和博 青山学院大学理工学部 経営システム工学科 准教授

数理最適化問題をコンピュータを用いて解くには、問題例の入力データを効率よく作成するモデリング言語と、その問題例の最適解を効率よく計算できるソルバをあわせて用いると便利である。Python言語では、人間の読みやすい形式で問題例を表現できるモデリング言語と、最適解を効率よく計算できるソルバを、パッケージとして簡単に利用することができる。このチュートリアルでは、基本的な数理最適化問題をPython言語のパッケージを用いて解く方法を述べる。